

株式会社サニーテーブル様



費用対効果とセキュリティを検討し、わずか1週間で pcAnywhere から ISL Online の切り替えを決めました

「ひとり情シス」として社内と店舗のシステム管理を一手に担っている、株式会社サニーテーブル プロジェクトマネージャ伊東喜則氏(写真右)に、ISL Online を導入した経緯と導入効果について詳しくお話を伺いました。

株式会社サニーテーブル プロジェクトマネージャ 伊東喜則氏
写真左：弊社営業部の井上

RESTAURANT Casita

<株式会社サニーテーブルについて>

レストラン「カシータ」をはじめ、東京都内でレストラン、カフェ、居酒屋を8店舗運営。またレストラン企画・運営事業に加え、ウェディング事業も行う。1987年設立。従業員数180名(2013年12月現在)。



RESTAURANT Casita

もくじ

1. 「遠隔 IT サポート」と「営業データのチェック」に、ISL Online を活用
2. 導入前の課題 ～「移動中もストレスなく直接アクセスしたい」～
3. pcAnywhere ソースコード流出事件を契機に、切り替えを検討
4. 検討からわずか1週間で導入
5. 「ひとり情シス」の企業こそ、効果を実感できる

「遠隔 IT サポート」と「営業データのチェック」に、ISL Online を活用

— サニーテーブルでは、ISL Online をどう活用していますか。

弊社の事業所は、本社に加え都内8店舗、計9拠点あります。約50台の端末において、「遠隔ITサポート」と「各店舗の営業データの日次チェック」に活用しています。



「遠隔ITサポート」では、店舗からの依頼に応じて、随時、本社や外出先から遠隔ツールを操作し、問題を解決しています。内容としては「メールの送受信トラブルの解決」「プリンタの設定」、「クリエイティブツールの操作レクチャー」などさまざまです。

「店舗の営業データのチェック」では、本社の経理担当社員が毎朝必ず、各店舗の売上データ管理システムに直接アクセスし、売上状況をチェックしています。

導入前の課題 ～「移動中もストレスなく直接アクセスしたい」～

— pcAnywhere を使っていたころの「課題」について教えてください。

2007年から他社の無料ツールとpcAnywhereを使用していました。複数のツールの中で、pcAnywhereは群を抜いて便利でしたが、いくつかの課題もありました。

たとえば、スマートフォンやタブレットからのリモートアクセスができないこと。池袋店にて

作業しているときに麻布店から遠隔サポートの依頼があれば、池袋店のパソコンから操作していました。店舗スタッフが使用していない空きパソコンを探したり、スペックの違いなどで、円滑なリモートサポートができないこともありました。

さらに、移動中など社外からのリモートアクセスについてはルーターの設定を変更する必要があり、これには抵抗がありました。そのため、外部からのリモートアクセスについては他社ツールを使用していました。いくつものリモートツールを使い分けていることも課題のひとつでした。

pcAnywhere ソースコード流出事件を契機に、切り替えを検討

— pcAnywhere や他社ツールから ISL Online に切り替えを検討し始めたのはいつからですか。

社外からのアクセス、またタブレットやMacなどOSに関係なくアクセスできる環境が欲しいと常々思っていました。2012年にpcAnywhereのソースコード流出事件が起り、セキュリティ面でも不安を覚え、pcAnywhereを利用せずにリモートアクセスを実現する方法を検討し始めました。

以前よりオーシャンブリッジさんのファイル軽量化ソリューション「NXPowerLite」を導入しており、会員メルマガにも登録していました。そこに「pcAnywhere から乗り換えキャン